

安芸市からの要望（水産振興部関係）の概要

- 1 日 時 平成25年7月23日（火） 14:35～14:55
- 2 場 所 水産振興部長室
- 3 出席者 安芸市：松本憲治市長、川島洋一市議会議長 ほか
高知県：東好男水産振興部長 ほか

【要望】

○穴内漁港海岸の整備について

- ・穴内漁港海岸を県管理海岸とし、西浜海岸と一体的な離岸堤として整備すること

○高知県新規就業者支援事業における要件の設定について

- ・県下で統一した漁業経験年数を設定すること

○一本釣漁業における経営の安定対策について

- ・魚礁調査をもとに専門的な見地からの効果的な魚礁計画を策定すること

【回答】

○穴内漁港海岸の整備について

- ・市管理の穴内漁港海岸を県に移管するには、いくつか方法があるが、現行の制度のもとではハードルが高い。
- ・現在、水産庁の補助を受けて進めている海岸浸食対策事業（人口リーフ）が完成し、効果を検証してからのこととなるので、今後、土木部とも連携し検討していきたい。

○高知県新規漁業就業者支援事業における要件の設定について

- ・漁業技術の習得の程度は、漁業種類、漁法等により異なることや、意欲のある人に対しては、できるだけ多くの研修機会を提供したいので、統一した漁業経験年数は設定しない方が良く考えている。

○一本釣漁業における経営の安定対策について

- ・県が事業主体となる大規模な沈設型魚礁の整備は、国に対して、B/Cを含めた効果を十分説明できないため、平成16年度以降休止している。
- ・リマ・種子島事業では、規模の小さい沈設型魚礁の整備は、効果が確実に見込まれるなどの要件が満たされれば、市町村の判断で実施可能である。
- ・安芸沖の魚礁については、正確な位置や形状を情報提供しているので、まずは、これらの積極的利用と効果の把握に努めてほしい。